

平成 26 年 10 月 29 日

狛江市議会議長

石 井 功 様

社会常任委員会

委員長 宮 坂 良 子

### 社会常任委員会所管事務調査報告書

本委員会の所管事務について調査した結果を、次のように報告いたします。

#### 記

#### 1 調査事件名

商店街の活性化について

#### 2 調査の目的

厳しい経済情勢のもと、空き店舗の増加や店主の高齢化などで市内の商店街の衰退が問題になっている。こうした中、商工会の要望も伺いながら、市内の商店街の現状を視察、先進地の事例調査を行い、商店街の活性化について提言をまとめる。

#### 3 調査の結果

本委員会では、市内の商店街の現状と課題について市の説明を受けるとともに、12の商店街を訪問・視察し、10の商店会長らの話を直接伺った。また、商工会を訪問し、商工会役員との懇談、商工会商業部会との懇談を行った。さらには、先進地である羽村市の「ハートキリン&マミーコラボ」「産・学・官・金」連携、商店街活性化事業（マミーショッピングセンター商店会）の取り組み、世田谷区的生活支援拠点型商店街事業（東深沢商店街振興組合）を視察した。

その結果、市内の商店街では、大型店の出店や地域の高齢化、店主の

高齢化などにより廃業する店が多く会員数も減少し、装飾街路灯の維持管理も困難になっている現状があった。その中でも幾つかの商店では、商品の品質へのこだわり、仕入れなどの工夫により、お店の魅力度をアップし来店者の拡大に努力し、その成果も上がっている様子も伺えた。

商工会の役員や商業部会との懇談では、商工会として独自の商業振興策をまとめたことや、専門家による推進体制の必要性を初め、商店街全体への支援とあわせ個店の魅力をアップするための支援策の必要性など、商店街活性化へのそれぞれの思いを伺うことができた。

羽村市マミーショッピングセンター商店会の視察では、市が商工会と連携し、企業活動支援制度を創設。中小企業診断士と金融機関の職員による専門家が個店・商店街訪問を継続的に行い、それぞれの商店街の要望をきめ細かく聞いて、それに応える施策を実施していることなどが参考になった。

また、世田谷区東深沢商店街振興組合は、住みなれた地域で生活できる拠点として商店街を再生し、商店街と地域が一緒になって取り組む生活支援拠点型商店街事業を行っている。行政は商店街と地域の日常生活を支える役割を担う。コンサルタントや経営アドバイザーが入り、アンケートを行い問題や目指す方向等を商店街プランとしてまとめる中で、地域の期待を感じ、やる気になり活性化につながっていることが参考になった。

さらには、「狛江市商店街振興プラン（平成 26 年度～平成 30 年度）」と狛江市商工会多摩地域商業便利度向上委員会作成の「商業振興計画書」を参考資料とさせていただいた。

以上の調査結果を踏まえ、本委員会として狛江市の商店街活性化のために、以下の施策を市として推進するよう提言する。

#### (1) 情報の発信への支援

お店の魅力や宅配事業などを広く市民に知ってもらい、販売促進のための広告やダイレクトメールによる情報提供、インターネットを利用した情報提供を充実させる。そのため、チラシのデザインへの支援、ホームページ作成への支援など具体的支援を充実させる。

#### (2) 店舗改装への支援

住宅リフォーム助成制度のように、店舗を改装する際にも、市としてそれを財政的に支援する店舗リニューアル助成制度をつくる。国や都の補助制度の情報収集を積極的に行い、活用できるものがあれば、それを積極的に紹介する。

(3) 商店街装飾街路灯のLED化への支援

各商店会の電気料負担を軽減し、環境を守る点からも商店街装飾街路灯のLED化を促進する。そのため、負担の大きい初期投資に対し融資制度を創設する。

(4) こまめ元気わくわく事業の推進

こまめ元気わくわく事業を推進し、個店の魅力を引き出す一店逸品運動を広げる。

魅力ある商品づくりや販売促進方法などについて、商業者の学習機会を拡大し、元気わくわく事業への参加店をふやす。

(5) 企業活動支援制度の創設

中小企業診断士と金融機関の職員が連携して個店を訪問し要望を聞き、きめ細やかな支援を行う企業活動支援制度を創設する。その際、支援員の活動の拠点を市役所地域活性課内に設置するなど支援員と市の担当者が密に連携できるようにする。この支援員を中心に、市と商工会が連携して、狛江市商店街振興プランや狛江市商工会の商業振興計画書に盛り込まれた事業を推進する。

本委員会として以上5項目を提言する。ぜひ今後市として、これらの施策の実現に最大限の努力を払っていただけるよう要望する。

なおこのほか、今回の提言には盛り込まれなかったが、プレミアムつき市内共通商品券事業、地域通貨の導入、「産・学・官・金」の連携による独創的なイベント事業、産業振興条例の制定、生活支援拠点型商店街事業など、各委員よりさまざまな提案が出された。これらについては各委員において、引き続き調査研究を進めていくこととしたい。

今回は、地域の各商店会役員、狛江市商工会役員、商業部会役員、また羽村市マミーショッピングセンター商店会、世田谷区東深沢商店街振興組合の方々など、多くの方々と懇談することができた。お忙しい中、時間をとって懇談をしていただいたことに心から感謝をする。私たちは、今後も引き続き懇談の中で出された声を生かして、狛江市商業の発展に力を尽くしていきたいと思う。

#### 4 調査の経過

##### ○ 委員会開催日（合計 13 回開催）

- 平成25年6月5日 所管事務調査事項を決定
- 平成25年7月26日 調査項目を決定，今後の調査に必要な資料の要求
- 平成25年9月19日 資料に基づき市側より説明，質疑応答及び委員派遣の決定
- 平成25年11月1日 現地調査の感想及び質疑応答，資料要求
- 平成25年11月25日 委員派遣の決定
- 平成25年12月11日 資料に基づき市側より説明，質疑応答，現地調査の感想，委員派遣の決定
- 平成26年1月30日 懇談会の感想及び質疑応答，資料要求及び委員派遣の決定
- 平成26年3月6日 資料に基づき市側より説明，質疑応答，資料要求及び委員派遣の決定
- 平成26年4月23日 資料に基づき市側より説明，質疑応答，資料要求及び委員派遣の決定
- 平成26年6月18日 資料に基づき市側より説明，質疑応答，行政視察の感想，調査報告書作成に向けての協議及び委員派遣の決定
- 平成26年7月28日 調査報告書作成に向けての協議
- 平成26年9月18日 調査報告書作成に向けての協議
- 平成26年10月29日 調査報告書決定

##### ○ 委員派遣

- 平成25年10月24日 狛江市内商店街（5カ所）に委員7名を派遣し調査
- 平成25年12月9日 狛江市内商店街（7カ所）に委員6名を派遣し調査
- 平成26年1月20日 狛江市商工会に委員7名を派遣し，会長や理事らと懇談
- 平成26年4月14日 狛江市商工会に委員7名を派遣し，商業部会役員と懇談
- 平成26年5月21日 羽村市役所及びマミーショッピングセンターに委員7名を派遣し調査
- 平成26年8月8日 世田谷区東深沢商店街に委員7名を派遣し調査